



春日クリニック

25周年企画

リレーエッセイ⑤ 読者投稿 木下恵美子 さん



春日クリニックの皆さん、25周年おめでとうございます。

我が家と春日クリニックとの付き合いは平成4年のある日の突然の一本の電話から始まりました。「体の方は如何ですか！」現在の理事長先生からでした。そして母のために初めて往診していただきました。その時母は高齢で、87歳でした。それから毎日のように往診していただき、先生の往診を楽しみにして母は90歳で亡くなりました。亡くなる時も、幸い看取っていただきながらでした。母は幸せ者でした。



被災して写真が見つからないとおっしゃっていた木下さん。あちこち探してネガを持ってきてくださったました。



木下さん

思いの詰まったメッセージをありがとうございました。

私もその頃呼吸器の病気で入退院の繰り返しでしたが、春日クリニックに移り、朝夕といつも先生にご迷惑ばかりおかけしましたが、完治し元気になりました。

主人はスタッフの方々の親切でやさしいことを喜んで、週に5日杏心の丘に通っています。私も母の年代になり、はるかぜ通所に通っています。いつも体全体を把握してくださり、かかりつけ医の有難さに感謝しています。県外の友達から「そんな病院に恵まれて」とうらやましいと言われています。

我が家は孫まで3代にわたりお世話になり、同じ25年を迎えました。「よくぞ春日に来てくださった」といつも理事長様に申し上げます。スタッフの方々とも親しくなり、春日に住んで本当によかったとも思います。これからも幾久しくよろしくお願いします。

⇒ 次回 読者寄稿その3



25周年に寄せ、はるかぜネットワーク読者の皆さまからも「春日クリニックの思い出」についてエッセイを募集します。400～500字程度、できれば何か思い出の写真を添えて スタッフまでお渡しください。寄稿してくださった方には「ものすご〜い」豪華賞品が？たくさんのご応募お待ちしております。

### 職員発表・講演会情報 …… ● 真理子先生 禁煙推進中！

10月15日、ピンクリボン熊本の乳がん啓発イベントの中で、真理子先生が禁煙に関する講演を行いました。煙草は乳がんのリスクファクターになるだけでなく、不妊症や女性らしさの低下の原因にもなります。子供はたばこ1本からでもニコチン依存症になります。参加者は女性が多く、自身のこととして真剣に話を聞いておられました。

翌朝NHKのニュースでもイベントが取り上げられ、真理子先生や森師長もばっちりカメラに映っていました。

